

江戸城西の丸

相模原市中央区 小沼 博

今回は江戸城です。2回に分けて紹介いたします。それでは、桜田門から入ります。家康が来るまでここは河口で、土橋は海の直前で川を堰き止めたダムとなります。左右の水面の高さに注目ください。ここから左側の方に高石垣がないのは、城の西は天子様に向く方向だからです。



お城の歩き方



最後に、唐破風と千鳥破風の美しい富士見櫓の写真を撮りました。因みに高麗門も唐破風も日本独自の建築様式です。

桜田門は、手前に小ぶりの高麗門、入って右に大きな渡櫓門のある右折の枳形虎口です。飛び道具を使う右利きの足軽は、高麗門で半身をさらすことになり、櫓門から狙われます。枳形の中に入れば、濠を挟んだ曲輪からも攻撃を受け

ます。平和な江戸時代には、庶民も通行できました。門を抜けます。左手の石垣の上には、当初土塀がありました。高い修繕費に吉宗公が「しばらく待つがよからう」と下したので松が植えられたとのこと。

さあ、皇居前広場にきました。信じがたいのですが、もともと、前方の高層ビル群まで全部海でした。重機もない時代、人力のみで江戸湾までの入り江を全部埋め立てました。濠は海を埋め残し

た部分となります。異国船がお城の前まで入れないようにするためにですが、これができる当時の日本の総国力に、植民地にならなかつた理由を感じます。

次は皇居正門前です。この門は直進型の枳形虎口でしたが、明治になって高麗門を撤去し、渡櫓門を手前に移動しています。右奥の伏見櫓のあたりは16もの寺院があった所で、関東大震災では崩れた石垣の中から人骨が出てきています。西の丸を左手に見ながら坂下門に行きます。この門は左折の枳形虎口でしたが、これも明治になって高麗門を撤去し、なんと渡櫓門をその撤去した位置に移築しています。

3月度研究会

臨床懇話会 事後抄録

『胃内視鏡検査の診方』

―誰もが理解できる写真の撮り方と胃癌早期発見のために―

高橋 徹也氏

研究部は3月14日、臨床懇話会「胃内視鏡検査の診方」誰もが理解できる写真の撮り方と胃癌早期発見のために」を協会会議室・WEB併用で開催。講師は高橋徹也氏(上天岡TMクリニック院長)が務め、80名が参加した。事後抄録を掲載する。

へ撮影されている写真が良く、特に噴門部は十分に内視鏡写真である。画像に近接して観察すること、見逃しやすい胃体下部から胃角部の後壁から小弯は意識的に観察することが重要である。

胃がんの早期発見のために、まずは内視鏡的にピロリ菌感染の有無を判断することが必要である。胃体下部から胃角部にRACが観察できれば未感染、びまん性発赤を認めれば現感染、また除菌後には特徴的な地図



高橋氏

めには、特に噴門部は十分に内視鏡写真である。画像に近接して観察すること、見逃しやすい胃体下部から胃角部の後壁から小弯は意識的に観察することが重要である。

胃がんは発生することを十分に啓蒙した上で定期的の内視鏡検査を行うことで、胃がんで悲しむ人、命を落とす人が少しでも減ることを願っている。

漢方研究会

呼吸器疾患における漢方治療のメリット

新井 信氏

研究部は3月17日、協会会議室とWEB併用で新漢方研究会「呼吸器感染症に使える漢方薬」を開催し、66名が参加した。講師は、聖マリアンナ医科大学・東海大学医学部 客員教授の新井信氏が務めた。

分自身で体験できることがあると紹介。また、呼吸器疾患に対する西洋薬の治療では、複数の薬剤を併用することが多いが、漢方では一剤で、しかも一、二服が勝負で、証を見極め、コアになる症状を治していくと解説。これにより自然治癒過程をサポートし、症状に苦しんで社会活動が制限される期間を短縮できること、医療経済的にも漢方治療は優れていることを述べた。

さらに、身体的所見や検査所見により病気の原因を調べて細菌やウイルスの除去を主とする西洋医学に対して、漢方は伝統医学的アプローチにより主に聴取した自覚症状、闘病反応を治

す」と解説。つまり、「病邪」と評述。風邪にはストリーパーがあり、「表」は身体表面層である喉や頭から、「半表半裏」は気管支や胃、食道、そして「裏」は身体深部に、つまり下部消化管へと症状が及んでいくとした。

この傷寒論の考え方は、闘病反応として自身で体験し、試してみると理解が深まると解説。ポイントは、自身に当てはまる漢方を見つけていくことであるとした。

その他にも、▽闘病初期の葛根湯、桂枝湯、香蘇散、麻黄附子細辛湯、▽亜急性期の小柴胡湯、大柴胡湯、柴胡桂枝湯、▽遷延期の補中益気湯、柴朴湯などの使用目標やコツ、妊娠中の漢方についても言及した。

組織の大義と個の正義

横浜市金沢区 千葉 英子



『対決』(文庫版) 著者：月村了衛 光文社、2026年2月、924円(税込)

医療と報道を軸に、医療界の不正に切り込む新聞記者と医大理事という二人の女性が、互いの信念と正義をかけて対峙する社会派サスペンス。様々な「対決」が描かれているこの作品は、現代社会、組織、自分

社会的背景の描出が、立体感を与えている。ある私立医大での入試の採点過程で女子受験生の点数を意図的に下げていると、いう噂を耳にした新聞記者が、独自の調査を始め、医大の理事に目をつける。巧みに追及をかわす理事に対して、真実を探ろうと記者は粘り強く核心へと迫って

る。人物の細かな心理的・流す術を身につけてきた二人、二人に共通する社会の善悪ではなく、現代社会が抱える揺らぎを孕んだ構造的矛盾を浮かび上がらせ

る。そして社会の中の組織という構造が、個人を摩耗させ、変質させるのだ。記者がスクープを掴んで世に出すことの功名心とその責任の狭間で揺れ動きながら、更なる緊張感を与えている。様々な立場の人物や状況が展開された後には、思考の余白が残る。現代社会において、医療人として、また一人の人間として、日々直面する数々の「対決」において、正義とは何か、自分を曲げずにまっすぐ生きていく気高さを意識つげさせる一冊であろう。本書はNHKでドラマ化され本年4月から放送されるとのことである。



新井氏

漢方治療を学ぶメリットとして、①漢方の基本である「傷寒論」の概略を学ぶことになる。②治療効果発現までの時間が短い。③自

漢方治療を学ぶメリットとして、①漢方の基本である「傷寒論」の概略を学ぶことになる。②治療効果発現までの時間が短い。③自